※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和５年度　キャリア

教科	キャリア	科目	教育学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では教員の仕事についての理解を深め、将来の進路選択に役立てることを目標としています。学生の皆さんにとっては、これまで１０年以上も見てきた非常に身近な仕事ですが、非常に多くの専門的知識や技量の必要な仕事であり、困難さと同時にやりがいもある仕事です。
授業の中では知識を学習するだけではなく、模擬授業をはじめとした実習を多く取り入れています。実際の体験に根差した学びは非常に得るところが大きいと思います。将来教職に就かなくても、役に立つ学びだと思いますので、頑張りましょう。

２　学習の到達目標

将来教職を目指す生徒を中心に、教職に関する基礎的な素養や技能について学習し、進路選択の一助とする。
(1) 教職に関する基本的な知識を学習し、教職についての理解を深める。また模擬授業を行い、具体的な教授法を学習し、教職に必要とされる技能についての理解を深める。
(2) 模擬授業や教材作成、実習などを通じて、よりよい教育はどうあるべきかを考える中で、思考力や表現力を養う。
(3) 授業全体を通じ、子どもを相手にする職業について真剣に向かい合うことで、教職に求められる高い人間性の向上に向けて、主体的に努力成長しようという意欲を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	教職に関する様々な分野について、主に授業、生徒指導、校務、採用の面について、現状と課題を理解する。	教職に必要とされる能力のうち、主に授業の基礎的な技量を訓練する。また教育課題に関して、様々な知見を調べ、課題を解決している力をつける。	教員に必須な作業である「読書」に取り組む。 また常に振り返りを行い、より高いレベルを設定し、そのためにどうするのかを考え、実行できるようにしていく。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	教職教養	教育とは 授業について 生徒指導について 学校業務について 教員採用について	a:教育の意義や目的、システムなどについての基礎知識を理解している。 b:教育の意義や目的について思考、考察して、自分の考えを表現できる。 c:より高い次元の考察に至るように参考書籍を読んでいる。	小テスト	小テスト 読書シート	振り返りシート
	実習	絵本読み聞かせ 教材作成(校種、科目は選択)	a:授業についての理解を深める。 b:授業技術の基礎力をつける。 c:より高い次元の授業力をつけるための努力をしている。	提出物	プレゼンテーション	振り返りシート
後期	実習	・模擬授業	a:授業についての理解をさらに深める。 B:応用的な授業技術力をつける。 c: より高い次元の授業力をつけるための努力をしている。	授業内容	プレゼンテーション	振り返りシート
	論文	教育に関する研究発表 および質疑応答	a:教育分野の知識を深める。 b:高いレベルの教育分野の論文を提出すると主に他者の発表に興味関心を持つ。 c:より高いレベルの論文を書くための努力をしている。	論文	論文 質疑状況 読書シート	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度